

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年10月20日 (2016.10.20)

【公表番号】特表2015-526571(P2015-526571A)

【公表日】平成27年9月10日 (2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2015-528908(P2015-528908)

【国際特許分類】

C 0 8 G 77/62 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 77/62

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月2日 (2016.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 6 】

特に好ましくは、該式において、 R' 、 R'' 、及び R^{***} が水素であり、かつ、 R' 、 R'' 、 R^* 、 R^{**} 及び R^2 がメチルであり、 R^3 が(トリエトキシシリル)プロピルであり、かつ、 R^1 がアルキル又は水素である、化合物である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 2 】

例 1 0

90 g の K i O N H T T 1 8 0 0 及び 2 1 0 g の T H F を仕込み、0 に冷却する。激しい攪拌下において、450 mg の T B A F が溶解した 15 ml の T H F を 6 0 分以内に計量添加する。0 で 6 0 分攪拌後、20 に加熱し、それから、50 ml の T H F 中の 300 mg の $Ca(BH_4)_2$ で反応を停止させる。T H F を留去した後、1, 6 5 0 g / モルの M_w を有するワックス状の固形物質があとに残る。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 3 】

比較例 1

4 L フラスコ中で、300 g の T H F を 600 g の K i O N M L 3 3 と混合する。114 ml の T H F で希釈した T B A F の 1 M 溶液 6 ml を 30 以内に計量添加し、その後一晩にわたり攪拌する。ろ過及び溶媒の留去後、不溶性かつ非溶融性の固形物質があとに残る。